

## II. The SYMPHONY SPACE

廃ビルになっていた映画館を民間デベロッパーが再開発しようとしたことをきっかけに、地域住民が取り壊しの反対運動を起こし、ビルの救済と文化施設としての再利用を訴え、地域住民のボランティアによって劇場に生まれ変わった施設。設立後 20 年が経過した現在では、NPO としての運営が軌道に乗っているが、メンバーシップの勧誘活動を中心に、約 100 名のボランティアが登録され、活動を行っている。

### 📄 施設・運営の概要

運営母体	The Symphony Space
所在地	2357 Broadway (at 95 <sup>th</sup> Street), New York, NY 10025
TEL	212-864-1414
FAX	212-932-3228
開館年月	1978 年
複合形態	単独館
施設特性	音楽、演劇、ダンス等
座席数	820
年間運営予算	年間約 2.2 億円 (200 万 US\$)
自主事業数	年間約 200 本
立地都市人口	731 万人(1992 年)
組織体制	有給スタッフ数



### 😊 ボランティア制度の概要

名称	—
導入時期	・1978年（劇場の設立そのものがボランティアによって行われた）
登録人数	・約100名（うち25～30名が積極的に活動）
導入の経緯	・観客にこやかに接し、メンバーシップの勧誘や、チラシ、公演カレンダーの配布等を行い、シンフォニー・スペースの顔としての役割を担ってもらう。
活動内容	・カウンター業務（友の会メンバー勧誘業務）、ダイレクトメールの発送業務。
募集方法	・ボランティアメンバーによる勧誘（メンバーシップ勧誘用紙にボランティア参加希望の記入欄がある）、プッシュホン電話の問い合わせで参加者名・連絡先を自動録音。
研修	・（誰にでもできる業務なので）特に行っていない。
特典・実費支給	・DM ボランティアは勤務時間が10時間になるとメンバー資格（チケットが2割～半額割引になる）が与えられる。 ・映画会のボランティアは映画が無料で鑑賞できる。
その他	・ボランティア歴5年のボランティアがコーディネーターを務め、スケジュール調整等を行っている。 ・ボランティア参加の動機としては、報酬や役得よりも「This is ours!」、すなわち「この劇場は私たちのものだ」という強い意識に支えられている。

## 📖 インタビュー記録 📖

- 訪問先：The SYMPHONY SPACE
- 住所：2537 Broadway (at 95th Street), New York, NY 10025
- 電話：212-864-1414 FAX: 212-932-3228
- 面会者1：Ms. Marnie Corbett…Membership & Special Event Manager（会員の募集管理と資金集めのためのガラや特別イベントの担当）
- 面会者2：Ms. Riva Peskoe …ボランティア・スタッフ。ボランティア・コーディネーターを務める。

### 1. 事業主体の概要

#### (1) 設立年、予算、施設、組織等の規模

- 設立：1978年
- 年間運営予算：200万 US\$（約2.2億円：1US\$=¥110として換算、以下同様）
- 席数：1階のオーケストラ席が約700席。これを回廊状にとりまく二階席と合わせて合計820席。
- 有給スタッフ数：約30名（技術、パートタイム等すべて含む）

#### (2) 定期公演・演目、アウトリーチ活動

##### ① 自主企画

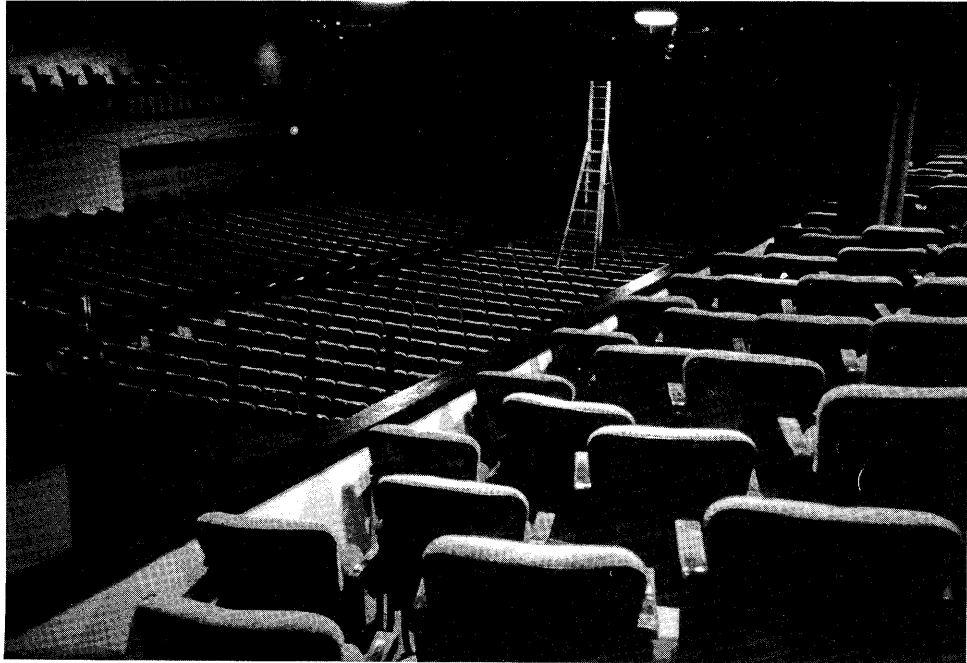
- 自主企画数は年間約200公演。多様なプログラム構成。特に近年はアフロ・アメリカンおよびラティノ・アメリカンのパフォーマンス・グループの出し物が増える傾向にある。主なプログラム内容は次のとおり。
  - 『Wall to Wall』…様々なジャンルの作曲家（現代音楽、民俗音楽、ゴスペル、etc.）の作品を集めた24時間マラソン音楽コンサート。
  - 『Selected Shorts』…有名な俳優による朗読小劇シリーズ
  - 『Face the Music and Dance』…実験的&新進のパフォーマーやミュージシャンによる音楽とダンスのシリーズ。クラシック音楽、現代音楽、民俗音楽、ポップス、コメディ、モダン・ダンス、パフォーマンス等々、幅広いジャンルを網羅する。中でも民俗的なプログラムの多様さには特徴があり、アフリカ系やラテン系にとどまらず、ラティノ・アフリカ系、アメリカン・インディアン系、中央アジア・インディアン系の出し物なども含む。
  - 『Tuesday Night Repertory Film Series』…話題の新旧の映画会シリーズ。
  - 公立の小・中・高等学校向きプログラム公演。

##### ② レンタル公演

- その他、レンタル公演が年間約140公演。

##### ③ ボランティア以外のコミュニティ巻き込み活動（アウトリーチ）

- 『ストリート・フェア』への参加：ブロードウェイを開放して行われるフェア（通りが歩行者天国になり、左右に屋台が道路に立ち並ぶ半日フェア）



● Symphony Space の劇場内部

にブースを出店し、パンフレットを配ったりメンバーを募ったりする。

### (3) ロケーション

- ・マンハッタンのアッパー・ウェストサイドと呼ばれる地域の北端に位置する。劇場の面しているブロードウェイはレストランやショップの立ち並ぶ商業通りだが、地域一帯としては古いアパート・ビルの多い住宅地区。
- ・マンハッタンの他の地域と比べて特徴的なのは、ミュージシャン、俳優などパフォーミング・アーツ系の自由業の人が比較的好んで住む他域であること。家族持ちの住民が多いこと。さらに、数十年間同じアパートに住み続けているかなり高齢の住民（主に白人層）の数が多きこと。
- ・ハーレムと呼ばれる地域は、ここからすぐ数ブロック北へのぼったあたりから始まるため、当シアターは黒人地区と白人地区のジャンクシヨンの位置にあると言える。また、劇場からセントラル・パークにかけての東方向のブロックは、エル・バリオと呼ばれるヒスパニック系住民の多い地区でもある。

### (4) 客層

- ・年間集客数は、約10万人。
- ・地域がらを反映して人種的・民族的に多様な構成。この傾向は近年ますます顕著になっている。全体の35%以上がマイノリティー民族。
- ・近隣住民が全観客数の中で占める割合は約半数。残りは「トライ・ステート・エリア」と呼ばれるニューヨーク市近郊の3州（ニューヨーク州＋ニュージャージー州＋コネチカット州）からの観客が占める。



● 劇場の片隅にディスプレイされた客席のミニチュア・モデル（リニューアル前の椅子の素材とデザインで作られている）

#### (5) 発足の背景

- 60年代～70年代のジェントリフィケーション（地域浄化）の流れの中、民間ディベロッパーが廃ビルになっていた映画館『シンフォニー・シアター』を取り壊そうと計画。この建物が1915年に立てられた長い歴史を持つ建物であることから、地域の住民が取り壊し反対の運動を起し、「ビルの救済と文化としての再利用」を訴えた。土地と建物の権利と使用権の譲渡の経過については「あまりにこみいっていて簡単には説明のしようがない」（スタッフ談）とのこと。

\*注：「納税義務免除の非営利法人」に対して不動産を譲渡する、或いは無料または超低価格で貸与した場合、権利者側は減税を含む様々な恩恵を被ることができる場合が多い。この劇場の場合も、市が間に入って、土地と建物の権利者に対して税金上の恩恵措置をとることによって話をとりまとめたと考えるのが常識的であろう。

- 発足から数年間のスタッフ構成は、「二名の設立者（無給）＋近隣住民のボランティア」。すなわち、有給のスタッフは存在していなかったという意味において、「ボランティアによって設立されボランティアによって運営されていた」と言っている。
- 現在の芸術監督（Artistic Director）は上記設立者のひとり。大学で演劇を教

えたり、フィルム制作に携わったりということで生活を支えながらシンフォニー・スペースでのボランティア活動を確保した。

- 劇場として立ちあげるための施設の改修工事費も、ボランティアたちによる資金調達活動でまかなわれた。調達の方法は、通常の助成金申請や寄付金の嘆願のほか、出演者にノーギャラで出演をお願いして入場料を工事費にまわすという方法、または、パフォーマンスの終わるたびに、シルクハットを持って客席をまわり現金を投げ入れてもらうという方法などがとられた。
- 昨シーズンには10万ドルをかけた改修工事が終了し、マーキー（表通りに張り出した庇：Marquee）、ロビー、手洗い等が立派になったところ。現在はクッションのきかなくなった客席を総取り替えすべく新たな資金調達キャンペーンを計画中。

## 2. ボランティア・プログラムについて

### (1) 役務の種類

#### ① カウンター業務ボランティア（友の会メンバー勧誘業務）

- オーケストラ席の客席の后方に設置されたカウンター（チラシ&パンフレット・コーナー+ギフトショップの機能を果たす）の中に立って、公演開始前&インターミッション時に、観客に“にこやかに接する”のが業務。
- 具体的には、小さなカードを手渡して名前や住所を記入してもらうよう勧める仕事が一番重要。記入してもらったカードは翌日オフィスに回され、コンピューターにインプットされ、メーリング・リストに加えられる [資料SS-1参照]。



● 客席後部に設けられたメンバーシップ勧誘のカウンター

## ■ The SYMPHONY SPACE

- ・特に「レンタル公演」の時には、「シンフォニースペース側の顔」としてのこのボランティアを配置しておく意味合いが大切になる（公演カンパニー自身が自分たちのチラシや寄付募集要項をカウンターに並べるので、シンフォニースペースとしては単なる「貸し小屋」的イメージに成り下がることを避けるためにも、観客に対して独自に「劇場側のアイデンティティ」を強調しておく必要がある）。
- ・ボランティア・スタッフは、チラシを手渡したりプログラム・スケジュールを説明したりといった“接客”はするが、ギフト・アイテムを販売するといった「カネを扱う業務」には携わらない。
- ・必要なカウンター・ボランティアは、一晩につき1名～2名。
- ・業務時間は、公演開始の30分前からインターミッション終了時まで。ただし、ほとんどのカウンター・ボランティアは公演終了時まで残って、「無料観賞」の役得を楽しむ。

### ② ボランティア・コーディネーター（Ms. Riva Peskoe ひとりで対応）

- ・「何月何日のカウンター業務を担当するボランティアはだれそれ」というコーディネートを行う。ボランティア名簿に載っている人々に電話をして、可能な日を調整する。
- ・電話代の関係上、ボランティアはシンフォニー・スペースへ出掛けて行き、オフィスの電話を使用する。業務時間はボランティアの自由。

### ③ ダイレクトメール・ボランティア

- ・チラシ、イベント・カレンダー [資料 SS-2参照]、月刊ニュースレター [資料 SS-3参照]等の封筒詰めと、メーリングのラベル貼り業務。
- ・毎月一回、平日のオフィス営業時間中に、2～3人のボランティアを集めて行う。
- ・有給スタッフの職務の肩代わりとなるようなレベルの仕事には、携わらない。

### ④ スペシャル・イベント・ボランティア

- ・資金調達のためのファンド・レイジング・パーティー用のボランティア。不定期。年に数回。
- ・パーティーの受け付け、コート・チェック（クローク）、会場案内、食べ物や飲み物の給仕、招待客（著名パフォーマーなど）の接待係りなどの分担業務がある。

## (2) ボランティアの人数

- ・ボランティア名簿に載っている人員の数は優に100人以上。この中で非常に積極的（定期的）に参加しているのは25人～30人。

## (3) 募集と教育

### ① 募集の方法

- ・上述の「小さなカード」には、「Yes! I want to be a member」と書かれた欄にチェックをするコーナーと、「Yes! I want to volunteer」と書かれた欄

にチェックをするコーナーがある [資料 SS-1参照]。

- 「ボランティアをしたい」というコーナーにチェックをした人には、ボランティア・コーディネーターが電話をかけて、「どんなボランティアがしたいのか」「いつ、どれくらいの頻度での参加が可能か」などを聞き出す。
- ボックスオフィスのインフォメーションの電話はプッシュホン・ダイアルの選択式になっている。「本日の催し案内」「今月の催し案内」「シンフォニー・スペースへの交通手段」などの選択肢と共に、「ボランティアの参加希望者は、『7』を押してください」という選択肢がある。これを選択すると、「ボランティアへの参加を希望していただき、ありがとうございます。あなたのお名前と電話番号を発信音の後に残してください。ボランティア・コーディネーターの Riva Peskoe が後ほどお電話をいたします」というメッセージが流れる。
- 特に映画会の日のカウンター・ボランティアの場合、その映画が無料で観たいという理由から、「何月何日にカウンター業務ボランティアがしたい」という旨の電話が、直接オフィスにかかってくることも多い。
- スペシャル・イベント・ボランティアについては、ボランティア・コーディネーターがボランティア・リストにある面々に電話をして集める。

## ② 教育の方法

- マニュアルのいるような複雑な内容ではなく誰にでもできる業務なので、特に教育システムと呼べるようなものや教材（マニュアル）などはなにもない。
- シンフォニー・スペースを愛して参加している人ばかりなので、トラブルの心配は特にしていないし、またこれまで特に問題が起こったこともない。

## (4) ボランティアへの報酬

- ダイレクトメール・ボランティアには、勤務時間が10時間に達した時点で、「メンバー」の資格を与える。メンバーになるとチケットが2割～半額割り引き購入ができる（正規のメンバーシップ代は最低45ドルから）[資料 SS-4参照]。
- 時々小さなお茶会を催してボランティアを招待。感謝の意を表すため。お茶会にパフォーマーを招いて、ボランティアたちがパフォーマーとじかに接する機会を設けるようにすることもある。

## (5) ボランティア・スタッフのプロフィール

- カウンター業務ボランティアの場合は多様で、「パフォーミング・アーツに興味がある人」という以外には、特筆すべき傾向はない。ただし、事務補佐ボランティアに比べると年齢層は若い。
- ボランティア・コーディネーターの Riva Peskoe さんは、もと広告マーケティング関係の会社に勤務しており、現在はリタイアして、ひとり暮らし。成人した娘がサンフランシスコに住む。
- ボランティア・コーディネーターを始めて5年になる。リアイアしたら文化施設でボランティアをしようと以前から決めていた。中でもシンフォニ

ー・スペースは以前からの常連であり、地理的にも数ブロックのところに住んでいるため、理想的なボランティア対象だったとのこと。

- ダイレクトメール・ボランティアは平日の昼間の時間を使うため、自然と参加者のほとんどがリタイアした高齢者になる。

#### (6) ボランティア参加の動機

- 「This is ours!」という気持ち。即ち「この劇場は自分たちのものなんだ」という強い意識。報酬や役得よりも、とにかくこの意識がボランティア参加の一番の動機とのこと。
- 映画会のカウンター・ボランティアの場合は、特に催しが無料で観られるという役得が魅力。
- パフォーマー、アーティストと直接知り合える（言葉を交わせる）機会があることも動機のひとつ。

### 3. 問題点・将来構想

#### (1) スタッフ談：

- オフィス内の事務アシスタント要員としてレギュラー・ベースかつ長期的なボランティア・スタッフが欲しい。目的は予算不足と人手不足の緩和のため。
- そのためには、ある程度マニュアル化された業務説明書やオリエンテーションを準備する必要があるが、現時点ではそれらを計画するだけの時間的、財政的余裕がまったくない。従って現実味は薄い。
- また、「事務アシスタント」というある程度責任ある仕事を任せるとなると、今のように「協力してくれる人なら誰でも歓迎」というわけにはいなくなる。それを管理・コントロールするだけの有給スタッフの体制がとれない。

#### (2) Riva Peskoe さん（ボランティア・コーディネーター）談：

- 自分の今のボランティアの仕事にもかなり責任が伴うが、時間的な拘束なくやっていけるのでいい。
- 一方「事務アシスタント」という仕事はやはり“定期的”にオフィスに通う必要があるので、時間的な拘束感が強く、そうなると自分が「ボランティア」という言葉の中で定義している業務とは違うものになる。自分のように考えない人も多くいるとは思いますが、やはり基本的には自分の自由意志で行動できる範囲での仕事が「ボランティア」というものではないか。

—以上—



資料 SS-1 : メーリング・リスト記入用紙



2537 Broadway @ 95th Street/NYC/10025

To receive information on upcoming events at Symphony Space, clearly print your name and address in the space provided below.

First Name Last Name

Address Apt/Suite

City State Zip

Day Phone Evening Phone

YES! I want to be a member  YES! I want to volunteer

I am especially interested in (choose as many as apply):

- 3. Classical Music  8. Jazz  7. Dance
- 6. Children's Shows  4. Theatre  5. Literary Events
- 0. Film  9. Other \_\_\_\_\_

Program Attended \_\_\_\_\_ Date \_\_\_\_\_

\*会員やボランティアへの参加希望も聞けるようなしくみになっている。

資料 SS-2 : イベント・カレンダー



The Piano

All Evenings \$8  
Seniors \$7  
Members only \$4!  
call 212.864.5400

OUR FILMS ARE BRIGHTER  
THAN EVER WITH NEW  
PROJECTION LAMPS!

THE BEST  
FILMS OF  
OUR LIVES  
Part III



Tuesdays, Sept 10 - Dec 3, 1996

A slightly REVISIONIST, selectively QUIRKY, sometimes OBVIOUS, often PROVOCATIVE, always ENTERTAINING CELEBRATION OF 100 YEARS OF FILM

SEPT 10

7 PM: CHARLIE CHAPLIN, BUSTER KEATON, FATTY ARBUCKLE, et al.

Silent shorts by some of the great slapstick comics of the 1920s—moon-faced and big-bottomed Fatty Arbuckle, the sprightly yet sad comic genius, Charlie Chaplin, and the delightfully deadpan Buster Keaton.

Live piano accompaniment by Stuart Odeman.

SEPT 17

7 PM: MERRY CHRISTMAS, MR. LAWRENCE

1983. Japan, Britain. Nagisa Oshima. 124 min. Color. David Bowie, Tom Conti, Ryuichi Sakamoto, Japanese POVV camp. Java, 1942: a Japanese commander and a British major in a strange battle of wills. Haunting drama; beautiful score by Sakamoto. Oshima's first film in English.

Fatty Arbuckle



9:15 PM: FIRES ON THE PLAIN  
1959. Japan. Kon Ichikawa. 105 min. B&V. Japanese. Eiji Funakoshi, Osamu Takizawa, Micky Curtis. As WWII ends, a band of soldiers battle for survival in the steaming Philippine jungle. Emotionally piercing, shockingly graphic.

SEPT 24

7 PM: TWO FORTHE ROAD  
1967. USA, Britain. Stanley Donen. 112min. Cinemascope. Audrey Hepburn, Albert Finney, Eleanor Bron, William Daniels, Jacqueline Bisset. Motoring in France, a bickering couple recall the ups and downs of their 12-year marriage. A winning bittersweet comedy.

9:15PM: VOYAGE TO ITALY

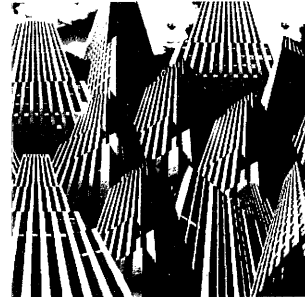
1953. Italy. Roberto Rossellini. 100 min. B&V. English. New 16mm print. Ingrid Bergman, George Sanders. On a sunny drive to Naples, a couple confront their icy relationship. "...opens a breach that the entire cinema must pass through..."—Jacques Rivette, *Cahiers du Cinema*. Introduced by Gil Rossellini.

OCT 1

7 PM: UN CHANT D'AMOUR  
1950. France. Jean Genet. 26 min. B&V. Silent. Study of homosexuality in prison; the only film of the '50s deemed obscene by the U.S. Supreme Court. Provocative, mesmerizing.

7:35 PM: SCORPIO RISING

1963. USA. Kenneth Anger. 37 min. Color. Bruce Byron, Johnny Sapienza. Classic American "underground" cinema; an amusing surreal mirror of gay iconography, glitz, culture, sex & violence. Winner of numerous awards. Music by The Angels, Elvis, Ray Charles, and other R&R heroes.



Skyscrapers by Thurman Rotan, Keith de Lellis, NY, NYNY. City of Ambition, Whitney Museum of American Art

AND MORE  
LITERATURE...

Literary Enthusiasts Save the Date!  
Mon, June 16  
**BLOOMSDAY ON BROADWAY** Re-Joyce at our 16th Annual Ulysses Extravaganza

13TH YEAR OF STORIES  
READ BY NEW YORK'S  
FINEST ACTORS

10 Wednesdays: Jan 29, Feb 12 & 26, March 12 & 26, Apr 9 & 23, May 7 & 21 & Jun 4.

Programs start at 6:30PM unless noted.

Season Highlights

Feb 12  
**LOVE STORIES FROM THE NEW YORKER**, hosted by Roger Angell

Feb 26  
**HOST: JAMAICA KINCAID**

Mar 26 at 7PM  
**HOST: ROBERT MacNEIL**

Apr 23 at 7PM  
**HOST: PAUL AUSTER**

Tickets: \$16/MEMBERS \$11  
Available to Members only:  
8-Program Subscription: \$80  
Best available seats at lowest prices!  
(Does not include Mar 26 & Apr 23)

6TIX: \$75 6 admissions to your choice of programs for only \$12.50 a ticket



Photo: Eduardo Patino

JUST KIDDING!  
Performing  
Arts for Kids  
5 & Up

5 Saturdays at 11AM

Dec 7: **NATIONAL DANCE INSTITUTE**  
Join 60 children from National Dance Institute, founded by Jacques d'Amboise, in a joyous celebration of music and dance.

Jan 11: **GILBERT & SULLIVAN FAMILY CONCERT** with NY **GILBERT & SULLIVAN PLAYERS**

Feb 8: **ANCIENT VIBRATIONS & M'ZAWA DANZ**

Mar 8: **WOMEN OF THE CALABASH**

April 12: **TOM CHAPIN**

Tickets: Children \$3/Adults \$6  
FREE admission for children of MEMBERS of Symphony Space and CMOM

Cherry Jones

LIVE ON STAGE! See the award-winning National Public Radio show heard throughout the metro area on WNYC 93.9FM & 820AM.

Selected Shorts is made possible, in part, by support from the Arthur Foundation; the Axe-Houghton Foundation; the Heathcote Art Foundation; the Henry Nias Foundation, Inc.; the New York State Council on the Arts; and the National Endowment for the Arts.

Directed by Isaiah Sheffer;  
produced by Katherine Minton.

資料 SS-3 : 月刊ニュースレター

# SYMPHONY SPACE NEWS

fall 1996

## VICTORY IN ALBANY AND A CHALLENGE FROM WASHINGTON Two Historic Decisions Ensure Symphony Space's Future

BY ISAIAH SHEFFER

Late spring of 1996 saw not one, but two major new developments that each give a tremendous boost to the life, health and future of Symphony Space. On June 13th, New York State's highest court, the Court of Appeals in Albany, issued a unanimous judgment in favor of Symphony Space finally ending the 11 year litigation over rival real estate claims to our building. And a couple of months earlier it was announced that Symphony Space would be the recipient of a prestigious Challenge Grant from the National Endowment for the Arts.

The important court decision, which made the front page of the *New York Law Journal*, declared null and void a disputed option agreement under which our adversaries had sought to dislodge us from our ownership of the theatre building, and reaffirmed the intent of the New York State Legislature in holding invalid very long-term options of this kind. What the decision means for Symphony Space is that any lingering threat to our permanent ownership of the theatre is now gone once and for all.

In fact, we were so confident that we would win the court case, that we planned for summer renovations that included the complete repainting of the theatre interior, the totally new and expanded restrooms, the new house-lighting, and outdoor street-front, showcases, and marquee.

The Challenge Grant award is remarkable because last year only 24 such grants were issued by a much-reduced National Endowment for the Arts in what may be the last round of Challenge Grants ever awarded. Only two were awarded in the entire state of California, and one in all of Massachusetts; New York had six winners, and Symphony Space was one of them! Ours is for \$200,000, which must be matched three-to-one over a three year period. That means in the next three years we must raise an additional \$600,000, over and above our usual operating budget fundraising, to receive the federal money which cannot be used for annual expenses, but only for long-term endowment and stability. Now you see why they call it a

*continued on page 3*



Arlane Smolderen

Legendary **Randy Weston** performs compelling rhythms on Nov. 7

## FACE THE MUSIC & DANCE FESTIVAL

November is jazz and dance month at Symphony Space, and this year, our innovative *Face the Music & Dance* series includes some of today's most exciting jazz musicians, celebrated blues artists and talented choreographers performing, improvising, creating and premiering innovative collaborations.

Pianist, composer and bandleader Randy Weston and his African Rhythms Quintet open the Festival on Nov. 7 with a breathtaking, richly-textured program of African-American and African rhythms and deep, consolidated grooves. According to *The New York Times*, "Weston may be the most direct descendant of Duke Ellington's spare but emphatic blues sensibility." "To Weston and his disciples," Howard Reich writes in the *Chicago Tribune*, "past, present and future merge gloriously in jazz of the 90's."

Weston's quintet includes jazz greats Talib Kibwe, Benny Powell, Alex Blake

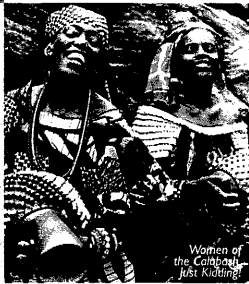
*continued on page 3*

**NEW  
Member  
Referral  
Reward  
Program!**  
See page 2 for  
more information

資料 SS-4 : メンバー募集用パンフ



- ◆ Ticket discounts of 20% to 50% to more than 150 events.
- ◆ Monthly calendar mailings with the latest program information.
- ◆ Free admission for children to *Just Kidding!* and to the Children's Museum of Manhattan on the day of the performance.
- ◆ Opportunity to purchase two subscriptions to *Selected Shorts*.
- ◆ Priority admission to the *Wall to Wall Leonard Bernstein* free music marathon.
- ◆ Members' newsletters and more!



Become a member and look at the difference you make. Your support helps us

- ◆ Bring our arts-education and literacy programs to more than 4,000 children and adults each year.
- ◆ Present outstanding performances for free or at the lowest possible prices.
- ◆ Assist established and emerging artists in building new audiences.
- ◆ Broadcast *Selected Shorts* on public radio, reaching more than 250,000 people nationwide 52 weeks a year.



Isaiah Sheffer  
Artistic Director  
Joanne Cossa  
Managing Director



**STUDENT: \$15 (\$10 tax-deductible)**  
Benefits for One • Reduced-price admission to designated events • Two free tickets to opening night of *Face the Music & Dance: Jazz, Dance, Collaboration* (subject to availability) • Priority admission to our annual *Wall to Wall* 12-hour music marathon • Bi-annual member newsletter • Monthly calendar of events • Discounts on selected Symphony Space merchandise • Discounts to selected neighborhood restaurants and shops.

**FRIEND: \$45 (\$40 tax-deductible)**  
All of the above plus • Benefits for two • Opportunity to purchase two subscriptions to *Selected Shorts: A Celebration of the Short Story* • Free admission for children to every *Just Kidding!* program and to the Children's Museum of Manhattan on the day of the performance.

**CONTRIBUTOR: \$75 (\$70 tax-deductible)**  
All of the above plus • Benefits for four • Free admission to designated special events and receptions • Beverage stamp - entitles member to one free drink at every program where refreshments are sold.



- I am joining at the level checked below.
- \$1,000 Star
  - \$500 Leading Player
  - \$250 Patron
  - \$100 Sponsor
  - \$75 Contributor
  - \$45 Friend
  - \$15 Student\*

Name \_\_\_\_\_  
Address \_\_\_\_\_  
City, State, Zip \_\_\_\_\_  
Phone \_\_\_\_\_

Enclosed is my check payable to Symphony Space.  
Charge to:  Visa  Mastercard  AMEX  
Card Number \_\_\_\_\_  
Name as on card \_\_\_\_\_  
Expiration Date \_\_\_\_\_  
Signature \_\_\_\_\_

My company will match my gift.  
Enclosed is a matching gift form.  
Company Name \_\_\_\_\_

\*Students must submit copy of current student I.D.

To order by phone, call  
212.864.1414  
or you may fax this form  
to 212.932.3228

Send to  
**SYMPHONY SPACE**  
2537 Broadway  
New York, NY  
10025-6947



**SPONSOR: \$100 (\$85 tax-deductible)**  
All of the above plus • Four free tickets to Tuesday night film of your choice.

**PATRON: \$250 (\$235 tax-deductible)**  
All of the above plus • Patrons' desk services - our membership office will assist you in making ticket arrangements (subject to availability).

**LEADING PLAYER: \$500 (\$485 tax-deductible)**  
All of the above plus • A year-long listing in the Symphony Space performance program.

**STAR: \$1,000 (\$970 tax-deductible)**  
All of the above plus • The newest volume of *Selected Shorts on Audiocassette* and our heartfelt thanks.

Corporate memberships are also available.  
For information, please call 212.864.1414.

Will your company match your gift? Check with your personnel office to see if your company has a matching gift program and mark the appropriate area on the order form.

A copy of the latest annual report may be obtained from Symphony Space or from the Office of Charities Registration, Department of State, 162 Washington Street, Albany, NY 12231.